

2026 年 2 月 18 日

AMED「次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業（次世代送達技術を用いた医薬品研究開発）」（2次公募）に採択された東京科学大学の研究開発課題に参画

～アクティブターゲッティング型ヘテロ2本鎖核酸医薬の臨床応用を目指し、非臨床開発および製造を推進～

レナセラピューティクス株式会社

レナセラピューティクス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：登利屋 修一、以下「当社」）は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）が公募した令和7年度「次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業（次世代送達技術を用いた医薬品研究開発）」（2次公募）において、国立大学法人東京科学大学（研究開発代表者：吉岡耕太郎 特任講師）が代表機関として提案した研究開発課題が採択され、当社が分担機関として参画することをお知らせいたします。

■ 採択課題の概要

事業名（領域名）： 次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業（次世代送達技術を用いた医薬品研究開発）

研究開発課題名： アクティブターゲッティング型ヘテロ2本鎖核酸医薬の臨床ステージアップに向けた非臨床開発

研究開発代表者： 国立大学法人東京科学大学 吉岡耕太郎 特任講師

■ 本研究開発課題における当社の役割

当社は、本研究開発課題において東京科学大学と連携し「アクティブターゲッティング型ヘテロ2本鎖核酸医薬（HDO）」の実用化に向けた重要なフェーズである非臨床試験の推進を担当します。具体的には、本技術の鍵となるアクティブターゲッティング用リガンドの提供（合成）をはじめ、開発候補品の GLP 試験用原薬製造や供給体制の構築、ポテンシャル確認試験等を通じて、革新的な核酸医薬の臨床入り（Clinical Advancement）に貢献してまいります。

■ 関連リンク

令和7年度「次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業（次世代送達技術を用いた医薬品研究開発）」（2次公募）の採択課題について | 国立研究開発法人日本医療研究開発機構

【レナセラピューティクス株式会社の概要】

設立：2015年1月（2019年11月に日本触媒グループに参画）

資本金：100百万円

代表者：代表取締役社長 登利屋 修一

所在地：東京都千代田区大手町 1-9-2

事業内容：核酸医薬にかかる創薬基盤技術の提供

会社 HP：<https://www.renatherapeutics.com/>

【本件に関するお問合せ先】

レナセラピューティクス株式会社

事業開発本部事業開発担当部長

宮川 久代

電話番号 (03) 4243 6081

お問合せ（メール）：info@renatherapeutics.com

以上